

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	農家基本台帳整備事務事業			事業コード	1470
担当課等	所属名	農業委員会事務局	担当係名		
	課長名	農業委員会事務局 農業委員会事務局	担当者名	渡邊 聡	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産意欲と技術の向上	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 6款 1項 1目 農家基本台帳整備事務 (003-02)	
	特記事項					
事業期間	○ 単年度      ● 単年度繰返      ○ 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 昭和60年度～)		
事務事業の概要	農地法関係事務、農業振興活動、諸証明の発行業務等の適正な執行のため、農地・農家に関する基本的な情報を収集し台帳として整備する。					
根拠法令等	農業委員会交付金事業実施要領(昭和60年11月20日付け農林水産省事務次官通達)					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
昭和27年の農地法制定に伴い、法定処理の基礎資料として作成を開始した。昭和60年に農業委員会補助金が交付金制度化されたことに伴い、交付金交付事業として台帳を整備することとなった。平成8年度に電算化し、平成17年度に全庁的なPC環境に対応したシステムに再構築した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特になし。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
水田経営所得安定対策(旧品目横断的経営安定対策)の実施に伴い、これまで農地のある市町村で管理していた出作地情報を住民登録地の市町村で管理することになった。また、農地の管理機能増強及び耕作放棄地対策のため水土里情報システムの導入が全国的に検討されている。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	農家	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 農家数(10アール以上耕作する農家)	単位	戸
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・10アール以上の農地を耕作する農家を拾い出し台帳を作成し、その世帯の農業従事者と耕作農地を台帳に登録した。 ・8月に市内全農家に調査票を送り、従事実態の調査を行って加除修正した。 ・耕作面積の変更について、届出等により随時修正した。  23年度計画(23年度に計画している主な活動)  台帳の適正化を図るため農家の経営状況について全戸調査を実施する。また、データ内容を整備するため住民基本台帳データ・固定資産税土地データの更新を実施する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 異動届出件数	単位	件
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	農家世帯、農業従事者等を適切に把握し、権利・義務を円滑に履行する便宜を図る。農業委員の選挙権の確認、耕作証明書の発行、農地の取得要件の確認、農業者年金加入資格確認等の基礎とし、農家への便宜提供と確実な事務処理を実現する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 加除修正件数 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	件
				B. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図、上位の基本事業にどのように貢献するか)	自立が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	都市・農山村交流人口(単位:人) 農業純生産額(単位:百万円) 林業純生産額(単位:百万円)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	農家数(10アール以上耕作する農家)	戸	6030	6004	6000	5996	5990	5990	24年度 5990
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	異動届出件数	件	5989	6030	5900	5878	5800	5800	24年度 5800
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	加除修正件数	件	11940	12000	11800	11604	11550	11550	24年度 11550
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	4,134	4,165	3,325	3,611	3,256	3,256	*****
財源 内訳	④国	千円	72						*****
	⑤県	千円		72	72	72	72	72	*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	4,062	4,093	3,253	3,539	3,184	3,184	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	4,134	4,165	3,325	3,611	3,256	3,256	*****
	延べ業務時間数	時間	650	650	650	650	650	650	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	6,734	6,765	5,925	6,211	5,856	5,856	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 農業委員会業務の適正な執行に役立っている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 農業委員会業務の基礎資料として必要な項目であり妥当である。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 盛岡市の農地等や農家に関する基本的な情報を適切に整備することから、成果の向上余地がない。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 農業委員会業務の重要な基礎資料であり、廃止することはできない。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 電算システムの委託料及び機器賃貸借料が事業費の大半をしめているため、適正な業務執行のためには削減できない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 最小の人員体制で対応しており削減できない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革 改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること  ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)
------------	---

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性      ● 妥当                      ○ 見直し余地あり : ② 有効性      ○ 妥当                      ● 見直し余地あり : ③ 効率性      ● 妥当                      ○ 見直し余地あり : ④ 公平性      ● 妥当                      ○ 見直し余地あり :	(2)全体総括(振り返り、反省点) 農業委員会業務の基礎となる事務で、個人情報管理に配慮しつつ、随時補正を行い台帳の適正化を図った。また、農業委員会委員選挙人名簿の区分使用等システム内の有効活用が必要となっている。											
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う				<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)										
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う										
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携										
													
方向付けの理由と改革改善の内容 農家台帳において農地管理者と選挙人名簿の区分利用や農業者年金対象者とのリンク等、現システム内での有効活用の検討のほか、システムの更新を行う。													